



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <https://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	242,232	19.8	10,081	60.9	10,999	66.6	6,693	67.6
2019年3月期第2四半期	202,146	7.8	6,265	3.8	6,603	4.7	3,994	10.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 7,106百万円(40.9%) 2019年3月期第2四半期 5,044百万円(14.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	140.54	127.65
2019年3月期第2四半期	79.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	304,572	102,101	32.6
2019年3月期	299,212	97,734	31.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 99,174百万円 2019年3月期 95,420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	75.00	75.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	466,000	4.9	18,500	3.1	19,300	4.1	11,800	5.0	247.74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	50,834,700株	2019年3月期	50,834,700株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,204,627株	2019年3月期	3,204,535株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	47,630,121株	2019年3月期2Q	50,159,194株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢や個人所得が堅調に推移いたしました。米中間の通商問題や消費税増税による個人消費への影響等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医療業界におきましては、医療の高度化・少子高齢化に伴い増加し続ける医療費を背景に医療制度改革が進められており、医療機関・業界各社において中長期的に幅広い連携や効率的な業務体制の構築が求められております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、トータルパックプロデュース事業におけるプロジェクト案件が一部前倒しで計上されるとともに、トータルパックプロデュース事業及びメディカルサプライ事業において、消費税増税前の駆け込み需要がありました。また、調剤薬局事業における新規開局や経営効率化等に努めた結果、当初業績予想を上回る成果を達成いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は242,232百万円（前年同四半期連結累計期間比19.8%増）、営業利益は10,081百万円（前年同四半期連結累計期間比60.9%増）、経常利益は10,999百万円（前年同四半期連結累計期間比66.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,693百万円（前年同四半期連結累計期間比67.6%増）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、大型プロジェクト案件が上期中に計画を上回って計上されたことに加え、その他のプロジェクトや更新機器の買い替えにおいて、消費税増税前の駆け込み需要がありました。

この結果、売上高は53,857百万円（前年同四半期連結累計期間比42.7%増）、セグメント利益（営業利益）は5,406百万円（前年同四半期連結累計期間比102.7%増）となりました。

②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、トータルパックプロデュース事業との連携や、新規SPD施設の受託及びSPD施設運営の効率化等により堅調に推移するとともに、消費税増税前の消耗品の前倒し購入需要がありました。

この結果、売上高は160,607百万円（前年同四半期連結累計期間比16.8%増）、セグメント利益（営業利益）は2,455百万円（前年同四半期連結累計期間比43.3%増）となりました。

③ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、前期に引き続き、全国一体経営及び入居促進策等に努めた結果、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は11,860百万円（前年同四半期連結累計期間比0.1%減）、セグメント利益（営業利益）は892百万円（前年同四半期連結累計期間比3.7%増）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規店舗の出店や共同仕入れ等の経営効率化により、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は13,380百万円（前年同四半期連結累計期間比8.3%増）、セグメント利益（営業利益）は1,280百万円（前年同四半期連結累計期間比34.4%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、動物病院の運営及びセキュリティサポート会社の業績は計画通り推移いたしました。

この結果、売上高は2,526百万円（前年同四半期連結累計期間比3.9%減）、セグメント利益（営業利益）は194百万円（前年同四半期連結累計期間比23.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は304,572百万円となり、前連結会計年度末と比べて5,360百万円増加いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が3,836百万円、長期貸付金が1,596百万円減少した一方、現金及び預金が8,374百万円、投資有価証券が1,819百万円増加したこと等によるものであります。

負債は202,471百万円となり、前連結会計年度末と比べて993百万円増加いたしました。その主な要因は、電子記録債務が3,102百万円、長期借入金が1,461百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が6,503百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は102,101百万円となり、前連結会計年度末と比べて4,366百万円増加いたしました。その主な要因は、配当の支払いにより利益剰余金が3,334百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が6,693百万円、非支配株主持分が612百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は32.6%（前連結会計年度末比0.7ポイント増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは16,730百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比13,889百万円収入増）となりました。これは主に、法人税等を4,362百万円支払った一方、売上債権が4,434百万円減少し、仕入債務が3,165百万円増加し、税金等調整前四半期純利益を10,997百万円計上したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは2,962百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比1,183百万円支出減）となりました。これは主に、長期貸付金の回収による収入が1,629百万円あった一方、有形固定資産の取得による支出が2,309百万円、投資有価証券の取得による支出が1,087百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは5,335百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比2,133百万円支出増）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が800百万円あった一方、配当金の支払額が3,334百万円、長期借入金の返済による支出が3,058百万円あったこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて8,399百万円増加し、79,894百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、2019年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,393	80,768
受取手形及び売掛金	97,975	94,138
電子記録債権	3,232	3,080
リース投資資産	3,801	3,592
商品及び製品	14,034	13,965
仕掛品	1,471	1,540
原材料及び貯蔵品	648	786
その他	8,109	7,807
貸倒引当金	△95	△74
流動資産合計	201,571	205,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,907	18,599
土地	14,451	14,549
賃貸不動産（純額）	13,209	12,881
その他（純額）	8,084	9,329
有形固定資産合計	54,652	55,360
無形固定資産		
のれん	9,304	9,283
その他	1,029	1,038
無形固定資産合計	10,333	10,321
投資その他の資産		
投資有価証券	14,683	16,503
長期貸付金	9,531	7,935
その他	11,062	10,584
貸倒引当金	△2,624	△1,738
投資その他の資産合計	32,654	33,285
固定資産合計	97,640	98,967
資産合計	299,212	304,572

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	85,371	91,875
電子記録債務	20,772	17,670
短期借入金	1,030	760
未払法人税等	4,139	3,764
賞与引当金	2,032	1,968
その他	14,830	14,352
流動負債合計	128,176	130,391
固定負債		
新株予約権付社債	25,116	25,104
長期借入金	39,700	38,238
退職給付に係る負債	2,811	2,804
資産除去債務	628	603
その他	5,043	5,328
固定負債合計	73,300	72,079
負債合計	201,477	202,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,921	23,895
利益剰余金	66,372	69,732
自己株式	△13,447	△13,448
株主資本合計	92,399	95,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,079	3,571
為替換算調整勘定	△84	△159
退職給付に係る調整累計額	26	30
その他の包括利益累計額合計	3,021	3,442
非支配株主持分	2,314	2,926
純資産合計	97,734	102,101
負債純資産合計	299,212	304,572

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	202,146	242,232
売上原価	181,617	217,564
売上総利益	20,528	24,667
販売費及び一般管理費	14,263	14,586
営業利益	6,265	10,081
営業外収益		
受取利息	140	203
受取配当金	95	193
負ののれん償却額	116	116
持分法による投資利益	21	22
為替差益	—	6
貸倒引当金戻入額	5	360
その他	142	166
営業外収益合計	522	1,068
営業外費用		
支払利息	129	126
為替差損	2	—
その他	52	25
営業外費用合計	184	151
経常利益	6,603	10,999
特別利益		
固定資産売却益	58	1
特別利益合計	58	1
特別損失		
固定資産売却損	0	2
投資有価証券評価損	5	0
その他	0	0
特別損失合計	6	3
税金等調整前四半期純利益	6,655	10,997
法人税、住民税及び事業税	2,399	3,945
法人税等調整額	329	317
法人税等合計	2,728	4,262
四半期純利益	3,926	6,734
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△68	40
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,994	6,693

四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,926	6,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	937	492
為替換算調整勘定	167	△125
退職給付に係る調整額	12	4
その他の包括利益合計	1,117	371
四半期包括利益	5,044	7,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,036	7,115
非支配株主に係る四半期包括利益	7	△8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,655	10,997
減価償却費	1,254	1,505
のれん償却額	829	843
負ののれん償却額	△116	△116
持分法による投資損益 (△は益)	△21	△22
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17	△71
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9	△533
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	82	10
受取利息及び受取配当金	△236	△397
支払利息	129	126
売上債権の増減額 (△は増加)	26,329	4,434
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,631	20
仕入債務の増減額 (△は減少)	△24,331	3,165
リース投資資産の増減額 (△は増加)	103	209
その他	△259	647
小計	7,778	20,818
利息及び配当金の受取額	238	401
利息の支払額	△130	△126
法人税等の支払額	△5,045	△4,362
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,841	16,730
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△121	△121
定期預金の払戻による収入	106	111
有形固定資産の取得による支出	△558	△2,309
有形固定資産の売却による収入	1,611	156
無形固定資産の取得による支出	△140	△198
短期貸付けによる支出	△267	△505
長期貸付金の回収による収入	155	1,629
投資有価証券の取得による支出	△4,934	△1,087
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	117
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△750
その他	3	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,146	△2,962

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,400	△270
長期借入れによる収入	7,000	800
長期借入金の返済による支出	△2,379	△3,058
自己株式の取得による支出	△2,999	△0
配当金の支払額	△3,238	△3,334
非支配株主への配当金の支払額	△48	△90
非支配株主からの払込みによる収入	—	731
リース債務の返済による支出	△130	△113
その他	△4	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,201	△5,335
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	△32
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,455	8,399
現金及び現金同等物の期首残高	58,787	71,494
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,332	79,894

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	37,736	137,553	11,876	12,350	199,517	2,628	202,146	—	202,146
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	944	599	92	911	2,548	118	2,667	△2,667	—
計	38,681	138,153	11,969	13,261	202,066	2,747	204,813	△2,667	202,146
セグメント利益	2,667	1,713	860	953	6,195	252	6,447	△182	6,265

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△182百万円には、セグメント間取引消去△41百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△142百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル パック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	53,857	160,607	11,860	13,380	239,705	2,526	242,232	—	242,232
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,180	559	109	1,149	2,999	158	3,157	△3,157	—
計	55,038	161,166	11,970	14,529	242,704	2,685	245,390	△3,157	242,232
セグメント利益	5,406	2,455	892	1,280	10,035	194	10,229	△147	10,081

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△147百万円には、セグメント間取引消去△41百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△105百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。